

令和6年度進行管理・評価シート
内子町 歴史的風致維持向上計画（令和元年6月12日認定）

□進捗評価シート(様式1)

①組織体制(様式1-1)		
1「計画推進協議会」(法定)の開催等		1
②重点区域における良好な景観を形成する施策(様式1-2)		
1(項目名)		2
③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項(様式1-3)		
1-1. 歴史的風致形成建造物等の修理・活用		3
1-2. 八日市護国伝統的建造物群保存地区保存修理事業		4
1-3. 重要文化財内子座修理事業		5
1-4. 歴史的建造物の建物調査等		6
1-5. 伝建地区の防災対策の検討		7
1-6. 伝建地区の地区拡大の検討		8
1-7. 歴史的建築物の保存及び活用に関する地域ルール作成及び運用		9
1-8. 歴史的建造物と林業との関連施策の検討		10
2-1. 歴史的建造物周辺地区の修景等環境整備		11
2-2. 空き店舗対策の実施		12
3-1. 職人の技術等、担い手育成事業		13
3-2. 伝統行事等の継承の支援		14
3-3. 習慣、風習等の継承及び再現事業		15
4-1. 中世城館跡等、遺跡・文化財調査事業		16
4-2. 博物館歴史展示・講座等の実施		17
4-3. 町蔵資料のデジタルアーカイブ化		18
4-4. 博物館ボランティア(学芸サポーター)育成事業		19
4-5. 歴史的資源の周知・活用		20
5-1. UDC(アーバンデザインセンター)などまちづくり拠点・組織等の整備		21
④文化財の保存又は活用に関する事項(様式1-4)		
1 ○文化財調査、指定について		22
○埋蔵文化財の取扱いについて		
2 ○文化財の修理(整備)について		
○文化財の保存・活用を行うための施設について		23
○文化財の周辺環境の保全について		
○文化財の防災について		
3 ○文化財の保存及び活用の普及・啓発について		
○文化財行政等の体制について		24
○文化財の保存・活用に関わる団体等との連携および支援について		
⑤効果・影響等に関する報道(様式1-5)		25
⑥その他(効果等)(様式1-6)		26

□法定協議会等におけるコメントシート(様式2)		27
-------------------------	-------	----

評估軸②-1

重点区域における良好な景観を形成する施策

評価対象年度		令和6年度
項目		現在の状況
良好な景観の形成に関する施策との連携		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手

計画に記載 している内容	歴史まちづくり計画の重点区域との関係性及び連携 ・都市計画区域内の用途地域が重点区域内に含まれている。 ・景観まちづくり計画では、町内全域を景観計画区域としている。景観計画重点区域を3カ所設定しており、そのいずれもが歴史まちづくり計画の重点区域内に位置している。景観計画区域への規制に加え建築物・工作物・屋外広告物に対する規制をかけ、重点的な景観整備を進めている。 ・重点区域も屋外広告物条例の適用範囲であり、設置に対する申請や景観形成に配慮した屋外広告物への誘導等を行っている。 ・伝建地区も重点区域内に位置し、その周辺環境の保存・整備を一体的に行い、歴史的資源を活かしたまちづくりを推進していく。 ・重点区域のうち内子地区と五十崎地区においては農業振興地域に該当しないが、小田地区においては大半が重なっている。
-----------------	---

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

内子町景観まちづくり計画区域においては、条例で区域内の行為の届出が必要となっており、当計画に適合しているか、内子町景観まちづくり評価員会を3回開催し、審査することで、景観コントロールを行った。また、伝統的建造物群保存地区においては、保存計画に従い、建造物等の修理・修景事業を計13件実施し、文化財としての特性の維持と景観整備を行った。都市計画については、審議等は特になかった。(いずれも作成日現在で予定を含み記載)

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	景観コントロール及び意識啓発等、引き続き実施していく。都市計画については、令和6年度にマスタープラン完成予定。

状況を示す写真や資料等

■内子町景観まちづくり計画重点区域



■景観法第16 条第 1 項の規定に基づく届出及び同
条第 5 項後段の規定に基づく通知が必要となる行為

1 屈出对象行为

(1) 町全域（景観重点区域を除く）における届出対象行為

対象	内容
建築物	・延べ床面積100㎡以上の建築物の新築、増築、改築、色彩変更 ・高さ10m以上の建築物の新築、増築、改築
上作物	・地盤面から上端までの高さが10m以上の上作物の設置
開発行為等	・面積500㎡以上の土地造成行為の変更 ・面積500㎡以上の土地、砂利の採取及び排出 ・面積1000㎡以上の陸域における物品の集積及び貯蔵 ・陸域に生物資源の採取にわたる取付品

(2) 景观重点区域における届出対象行為

対象	基準
建築物	・延べ床面積 10 ㎡以上の建築物の新築、増築、改築
工作物	・延べ床面積 20 ㎡以上の建築物の色彩変更 ・地盤面から上端までの高さが 2 ㎡以上の工作物の設置
開発行為等	・面積 200 ㎡以上の土地地区画界の変更 ・面積 200 ㎡以上とし、樹形の採取及び排出 面積 100 ㎡以上又は高さ 1.5 ｍの外に於ける物品の集積及び貯蔵
屋外広告物	・屋外広告物条例の規定に上り許可を要するもの

なお、工作物とは、煙突、排気塔、電波塔、高架水槽、冷却塔、彫像、記念碑、鉄柱、観覧車、コースター、コンクリートプラント、アスファルトプラント、石油・ガス等貯蔵処理施設、汚水処理施設、ゴミ処理施設、橋、柵、保管庫及びこれらに類する施設とする。

※屋外広告物の設置申請は、「内子町屋外広告物条例」が適用される。

■内子町景観まちづくり評価員会（作成日現在）

①開催日：令和6年10月8日（書面開催案内目）

内容 景観計画区域内における行為届出に関する協議

■令和6年度実績（作成日現在）

- ・景観計画区域内の行為の届出件数
：届出15件、通知2件、勧告0件
※うち重点区域内届出2件
- ・屋外広告物許可申請件数：7件
- ・土塀・板塀等設置奨励補助事業：2件
- ・緑の町づくり補助金（生垣補助）：0件
- ・内子町景観まちづくり賞：0件
- ・伝統的建造物群保存地区修理・修景件数
：国庫補助修理3件、国庫補助修景2件
町単費補助修理10件、町単費補助修景2件、
町単費補助防虫1件

評価軸①-1
組織体制

		評価対象年度	令和6年度
項目		現在の状況	
歴史的風致維持向上計画の実施体制		☐実施済 ☒実施中 ☐未着手	
計画に記載している内容	本計画の推進体制については、町並・地域振興課を事務局とし、庁内推進体制を構築するとともに、歴史まちづくり法第11条の規定に基づく「内子町歴史的風致維持向上計画推進協議会」において計画の推進や変更等の連絡・調整・協議等を行い、事業の推進を図る。また、必要に応じて、本町の都市計画や景観まちづくり、文化財保護等に関する審議会、並びに文化財や歴史的建造物の所有者等と連絡調整を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
内子町歴史的風致維持向上計画推進協議会を令和6年5月21日、令和7年3月21日に開催。第1回推進協議会では、前半5年間の中間評価について報告し、内容の確認や今後の改善等について協議した。第2回は進捗の報告と計画変更の内容を説明し、評価いただいた。今年度は博物館活動や学芸活動で幅のある取り組みを実施、課を超えた事務レベルでの情報共有・協議等は必要に応じて円滑に連携できた。ただし、庁内体制の強化・充実は検討課題として残る。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒計画どおり進捗している ☐計画どおり進捗していない		歴史まちづくり係の充実が、庁内での連携や推進体制強化につながっていると感じられ、今後も実績を重ねつつ、庁内全体の体制整備について検討を継続する。	
状況を示す写真や資料等			

内子町歴史的風致維持向上計画推進協議会の開催

〈第1回推進協議会〉

□開催日 令和6年5月21日

□内容 ①歴史的風致維持向上計画にかかる事業の中間評価

②意見交換、その他

〈第2回推進協議会〉

□開催日 令和7年3月21日

□内容 ①歴史的風致維持向上計画にかかる事業の進捗



内子町歴史的風致維持向上計画推進協議会
(令和3年度の様子→今年度分に差替え予定)

評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和6年度 現在の状況
1-1. 歴史的風致形成建造物等の修理・活用			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	令和2年度～令和10年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業、空き家再生等推進事業)		
計画に記載している内容	重点区域内における歴史的風致形成建造物等の活用促進のため、所有者の意向も考慮しつつ周辺環境とともに調査及び事業計画作成を行い、修理・整備を行う。修理の際には併せて職人の技術継承も図る。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
○歴史的風致形成建造物「旧森家住宅」について ・第1期工事を令和6年9月27日に着工。建築主体工事は㈱山本建設、設備工事は(有)田丸電気水道設備が受注した。月1回の工程会議を開催し、円滑な事業推進、周辺地域への対応を心掛けている。 ・旧森家を実際に運営していく方法を検討するため、事業者や団体等を対象とした第2回サウンディング型市場調査を実施。使う側の目線で施設についての意見を伺い、今後の整備や設置条例の作成等に反映させた。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		来年度は第1工期工事が終了し、主屋、下土間、燃料蔵が新しい施設として完成する。指定管理者制度の活用などにより、運営体制を構築する予定。第2工期の工事、第3期の設計が始まるので、地域住民等との協議を継続する。	
状況を示す写真や資料等			

歴史的風致形成建造物「旧森家住宅」整備・活用について

■第1期工事を開始

□概要 旧森家住宅7棟のうち、商店街側にある主屋、下土間、燃料蔵の3棟の工事に着手。

□内容

- ①建築主体工事：山本建設（128,480千円）
- ②設備工事：田丸電気水道設備（55,220千円）
- ③設計監理：スミカデザインオフィス

□工期

・令和6年9月27日～令和7年3月25日予定

旧森家住宅第1期工事の状況

■サウンディング型市場調査の実施

□概要 指定管理者の公募条件などを検討するため、第2回サウンディング型市場調査を実施した。指定管理者希望に2事業者、テナント希望に2事業者の計4事業者が参加した。

□内容

- ①公募期間
令和6年9月30日～10月11日
- ②サウンディング実施日
令和6年10月26日～10月23日（参加・4事業者）
- ③実施結果の公表 令和6年12月5日～（町公式HP）



主屋・下土間・燃料蔵の3棟を工事中



主屋内部の工事の状況

評価軸③-2

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和6年度 現在の状況
1-2. 八日市護国伝統的建造物群保存地区保存修理事業			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	昭和57年度～令和10年度		
支援事業名	国宝重要文化財等保存・活用事業費補助金(国) 重要伝統的建造物群保存地区整備費補助金(県) 町単独事業		
計画に記載している内容	内子町八日市護国伝統的建造物群保存地区保存計画で特定されている伝統的建造物の修理及びそれ以外の建造物等の修景を行う所有者への支援、町所有の伝統的建造物の修理を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
令和6年7月22日及び12月10日、伝統的建造物群保存地区保存審議会を開催し、昨年度の事業実施報告、今年度事業の説明、来年度事業計画について審議いただいた。 令和6年度は国庫補助事業及び県費補助事業による保存修理事業5件、町単独補助による保存修理事業10件、修景事業2件、防虫事業1件を実施し、伝統的建造物の保存及び周辺環境の良好な景観形成につとめた。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	引き続き地域住民(土地・建物所有者)と協力して保存整備に取り組む。		
状況を示す写真や資料等			



内子町伝統的建造物群保存地区保存審議会

内子町伝統的建造物群保存地区保存審議会の開催

- ☐開催日 令和6年7月22日(月)
☐議事
 ・令和5年度事業実績について
 ・令和6年度事業実施について
 ・令和7年度事業計画について
- ☐開催日 令和6年12月10日(火)
☐議事
 ・令和6年度事業実施について
 ・令和7年度事業計画について

令和6年度修理事例(個人所有:住宅)



修理前



修理後

評価軸③-3

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和6年度
1-3. 重要文化財内子座修理事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手

事業期間 令和2年度～令和7年度

支援事業名 国宝重要文化財等保存・活用事業費補助金(国)

計画に記載している内容 重要文化財内子座について、保存活用計画を作成し、耐震化を含む保存修理事業を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

内子座保存活用検討委員会を1回開催した。委員会では、保存修理事業の経過報告を行った。保存修理事業については、令和6年4月1日に文化庁からの補助金交付決定を受け、実施設計を行った後、指名競争入札を行い、令和7年1月18日に工事着工となった。防災施設整備事業及び公開活用事業に関し、基本設計が完了した。保存修理工事期間中の事業として“内子座藝於遊”と題し、各種事業を実施した。

進捗状況 ※計画年次との対応

☒計画どおり進捗している
☐計画どおり進捗していない

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

令和6年度に着手した保存修理工事について、防災や活用の事業内容とすり合わせをしながら着実に進めていく。この期間を文化財への理解を深める機会ととらえ、修理現場や記録映像の公開などに務めるとともに、集客につながるよう配慮しながら進める。

状況を示す写真や資料等

第10回内子座保存活用検討委員会

□開催日 令和7年2月26日

□議事など

- (1) 内子座保存修理事業スケジュール
- (2) 内子座保存修理工事の現状報告
- (3) 活用事業について
 - ①冷暖房設備の改善
 - ②音響照明設備の改善
 - ③その他 太鼓櫓の活用

重要文化財内子座保存修理工事

(1)実施設計等業務、(2)工事監理業務

□委託先

公益財団法人 文化財建造物保存技術協会

□委託内容

(1)実施設計等業務

- ①実施設計業務
- ②文化財業務

(2)工事監理業務

- ①実施設計業務(解体後)
- ②工事監理業務
- ③文化財業務

内子座藝於遊(保存修理工事中の活用事業)の実施

- (1) メッセージカード(令和6年4月1日～)
- (2) お狐募金の開始(令和6年4月1日～)
- (3) クロマツ移植イベント(令和6年3月1日)
- (4) 内子座落語体験(令和6年6月16日～21日)
- (5) 内子座記念撮影会(令和6年7月7日) 撮影: 浅田政志氏
- (6) 内鼓座笹まつりWS(令和6年8月7日)
- (7) 内子小学校コミスク連携事業(6回実施)
- (8) 内子座クロージングセレモニー(令和6年9月1日)
- (9) 内子座かたづけタイ(令和6年9月7日)
- (10) 内子座楽屋オープン

(令和6年10月5日～、10月4日プレオープンイベント)

- (11) 内子座見学会とミニ講座(7回実施)
- (12) 内子座楽屋企画展(2回)、ミニコンサート(2回)
- (13) 内子座保存修理工事記録映像作成
- (14) 保存修理工事看板設置
- (15) 保存修理工事パンフレット作成



【写真】

上段左: 内子座保存活用検討委員会

上段右: 内子座記念撮影会

下段: 保存修理工事の様子



重要文化財内子座保存修理工事

□入札方式 指名競争入札

□契約先 株式会社山本建設

□工期 着工 令和7年1月18日

完成 令和10年9月29日

評価軸③-4

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和6年度 現在の状況
1-4. 歴史的建造物の建物調査等		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手

事業期間 令和2年度～令和10年度

支援事業名 町単独事業

計画に記載している内容 今後の歴史まちづくり推進の基礎となる歴史的建造物等について、重点区域内において建造物の歴史及び特徴等の調査を行う。また文化財指定や登録についても検討する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

旧佐野家住宅(商いと暮らし博物館)が、令和6年7月に答申を受け、12月に登録された。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	調査対象の物件の洗い出し及び調査体制が課題であり、今後、さらなる情報収集を進め、必要に応じて調査を実施する。

状況を示す写真や資料等

歴史的風致形成建造物候補

旧佐野家住宅(商いと暮らし博物館)主屋ほか2棟
登録有形文化財答申☐答申日 令和6年7月19日☐登録日 令和6年12月3日☐登録基準

主屋：②造形の規範となっているもの

土蔵：①国土の歴史的景観に寄与しているもの

離れ：①国土の歴史的景観に寄与しているもの

歴史的風致形成建造物候補

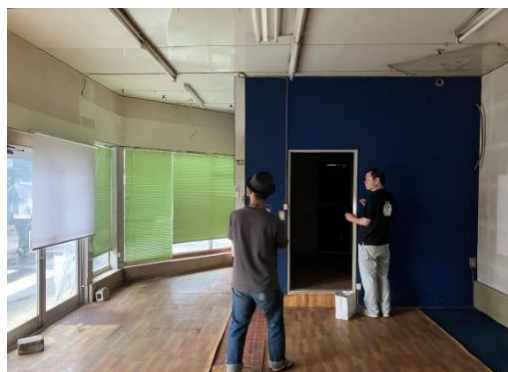
西野家住宅 調査

☐調査日 令和6年8月7日☐調査者 愛媛大学社会共創学部 佐藤大規研究室☐調査内容

建物の老朽化への危惧と今後の活用を見据えた図面作成の



旧佐野家住宅主屋(商いと暮らし博物館)



西野家住宅

評価軸③-5

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

令和6年度	
項目	現在の状況
1-5. 伝建地区の防災対策の検討	
事業期間	令和元年度～令和10年度
支援事業名	町単独事業
計画に記載している内容	内子町八日市護国伝統的建造物群保存地区の総合防災計画に基づき、防火水槽の増設及び消防水利の確保を行う。また、震災等を考慮し保存地区内の複数個所に退避できるスペースや保存地区自主防災組織の物資倉庫等を設ける。
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で	
保存地区内の清正ひろば(358.10㎡)において、保存地区保存会と保存地区を構成範囲とする八日市自治会自主防災会合同で、地区住民が参加し消防署員の指導の下、防災訓練を実施した。今年度は水消火器を使用した防火訓練を学習し、地元防災士による各家庭で備える防災用品について講義を実施した。	
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	防火水槽の増設等消防水利の確保が課題であり、実現に向け、地域住民と共に、計画を立案する。防災訓練は定期的を実施する。
状況を示す写真や資料等	



八日市護国地区町並保存会防災訓練の実施

- ☐実施日 令和7年1月19日
☐参加者 32人
☐訓練内容
- ・水消火器を使った消火訓練
 - ・発電機等防災用具の点検
 - ・防災士による自家防災講義

住民参加の水消火器による消火訓練



消防署員より解説・質疑



地元防災士による自家防災講義

評価軸③-6

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和6年度 現在の状況
1-6. 伝建地区の地区拡大の検討		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手

事業期間 令和2年度～令和10年度

支援事業名 町単独事業

計画に記載している内容 伝建地区についての平成21年度の見直し調査からも10年経過し、本計画期間内に選定40周年を迎える。この機会に地区拡大について調査等に基づき検討する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

令和6年度は、伝建地区の地区拡大について特に進展は無かった。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

☐計画どおり進捗している☒計画どおり進捗していない

拡大のための価値づけが課題であり、引き続き実現の可能性等を調査する。

状況を示す写真や資料等



内子町伝統的建造物群保存地区
見直し調査報告書

八日市護国重要伝統的建造物群保存地区付近

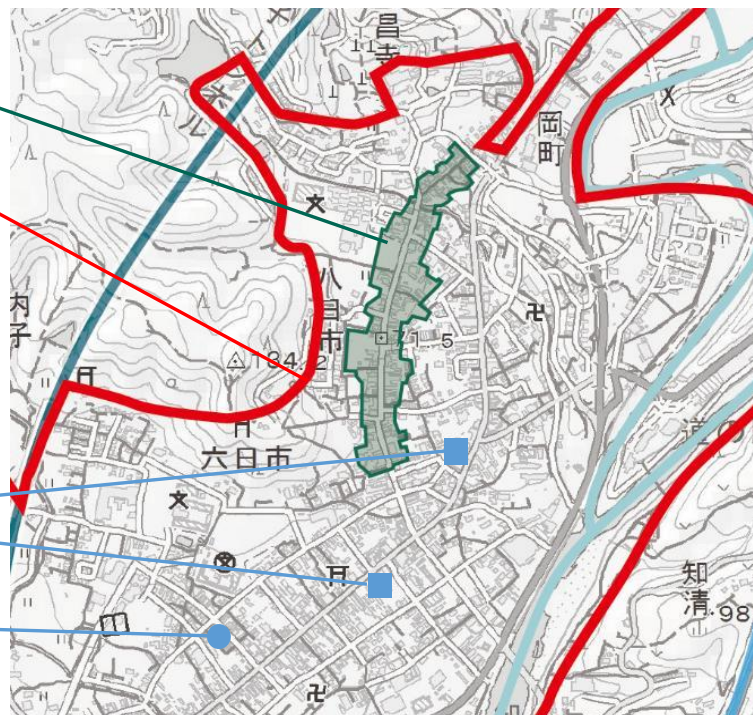
八日市護国
重要伝統的建造物群保存地区

歴史まちづくり計画重点区域

登録有形文化財 旭館

登録有形文化財 旧下芳我家住宅

重要文化財 内子座



評価軸③-7

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和6年度
1-7. 歴史的建築物の保存及び活用に関する地域ルール作成及び運用		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手

事業期間 令和元年度～令和10年度

支援事業名 町単独事業

計画に記載している内容 歴史的建築物の大規模修理等を行う際、その保存すべき意匠等を損なわないよう、安全性の確保と保存の両立を図るため、建築基準法の第3条第1項第3号の適用除外条例(内子町歴史的建築物の保存及び活用に関する条例)を制定し、内子町におけるルール(地域ルール)を作成し、文化財や歴史的風致形成建造物等の円滑な活用と保存を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

○「内子町歴史的建築物の保存及び活用に関する条例」及び運用のためのガイドラインについて進展はなかった。
 ○旧森家住宅第1期工事(主屋)の設計において、香川大学創造工学部の宮本慎宏准教授の研究室に構造検討を依頼し、限界耐力計算による耐震工事を実施。第2期工事の設計についても、引き続き調査を依頼している。令和6年6月19日に旧森家・客座敷の状態を調査し、結果を設計に反映している。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

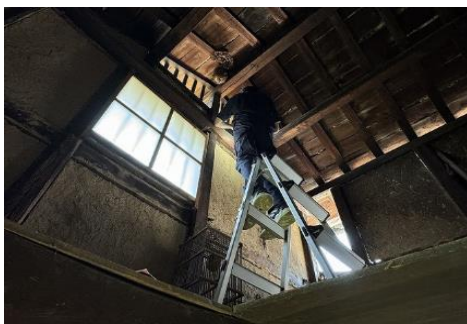
■計画どおり進捗している
☐計画どおり進捗していない

制度設計及び運用について現実的な実現が課題であり、愛媛県にも働きかけつつ引き続きこれらについて学習及び協議を行う。

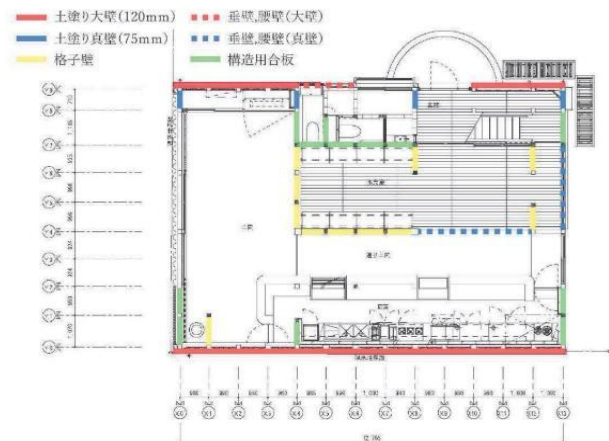
状況を示す写真や資料等

■旧森家住宅の現地調査

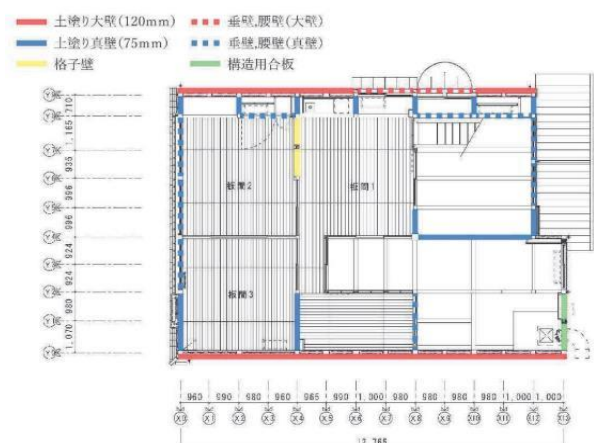
□概要 令和6年6月19日、香川大学宮本研究室により、旧森家住宅の限界耐力計算のための現地調査が行われた。第2期工事は米蔵や茶室など4棟が対象になるが、現在の建物の状況を評価し、限界耐力計算による耐震設計は客座敷のみが対象となった。



宮本研究室の調査の様子



(a) 1F



(b) 2F

耐震要素の配置図 (旧森家・主屋)

評価軸③-8

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度		令和6年度
項目		現在の状況
1-8. 歴史的建造物と林業との関連施策の検討		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	令和元年度～令和10年度	
支援事業名	国宝重要文化財等保存・活用事業費補助金(国) 重要伝統的建造物群保存地区整備費補助金(県) 町単独事業	
計画に記載している内容	歴史的にもつながりの深い山間部の林業と中心市街地の形成ではあるが、現在、そのつながりが視覚化されたものが乏しい。歴史的建造物の修理時等に、町産材を積極的に利用できる仕組みを検討し、山林資源の町内循環はもとより林業と歴史まちづくりの関係の認識向上を図る。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
○歴史的建造物の修理時等に、町産材を積極的に使用するよう請負業者に使用を促している。 ○今年度の保存修理事業(国庫補助修景事業1件)においては、構造材の修理等は可能な限り町内の材木店で購入した製品を使用し保存修理を実施した。		
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		対象となる歴史的建造物の修理をどのように定義づけて町産材を活用するか、また、その供給体制づくりが必要であり、次年度以降にさらに検討を行う。
状況を示す写真や資料等		



柱等構造材の状況

評価軸③-9

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度		令和6年度
項目	現在の状況	
2-1. 歴史的建造物周辺地区の修景等環境整備	☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	令和2年度～令和10年度	
支援事業名	社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業) 町単独事業	
計画に記載している内容	重点区域内で、重伝建地区などの歴史的建造物周辺や沿道等のトータルデザインを検討し、外観の修景や街路灯等の環境整備等を進める。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
内子本町商店街における景観改善及び安全性向上を目的に計画している街路灯整備は、無電柱化の進捗と併せて実施することとなったため、工期が遅れることとなった。 令和6年度は伝建地区と接する工場跡地の小公園整備について、東屋などの建築確認を行い工事着工までの条件を整備し、令和7年3月には工事請負契約を結ぶことができた。		
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		街路灯については地元の要望もあるためできるだけ早く着工したいが、工事時期の調整が課題となっている。小公園整備は令和6年度内に契約することができたが、今後も隣接団地の駐輪場の整備など、順次進捗を図っていきたい。
状況を示す写真や資料等		

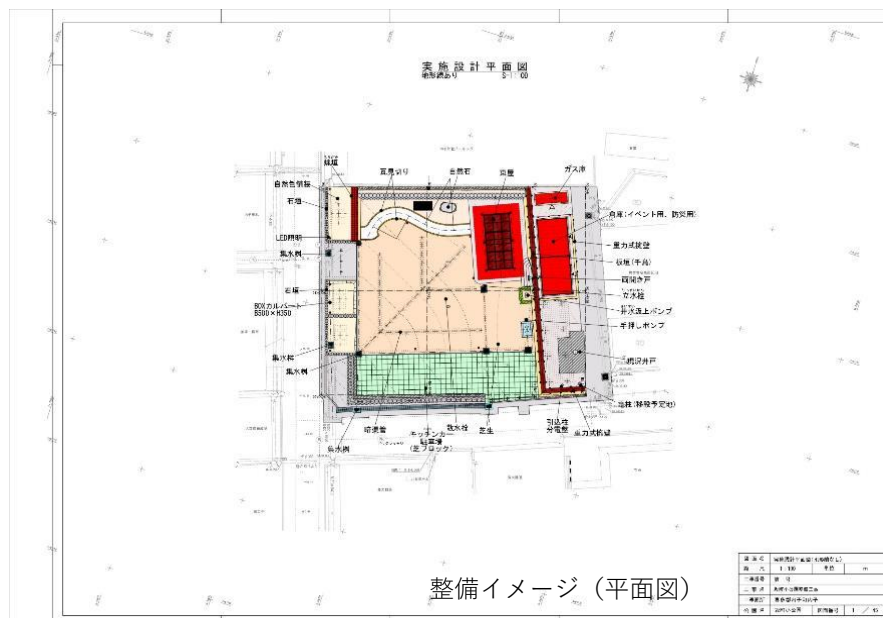
■小公園対象地



現況



整備イメージ



評価軸③-10

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和6年度
項目		現在の状況	
2-2. 空き店舗対策の実施		☐実施済 ☒実施中 ☐未着手	
事業期間	平成30年度～令和10年度		
支援事業名	町単独事業		
計画に記載している内容	町内の各地域における商業の活性化を図るため、空き店舗兼住宅又は店舗として使用可能な住宅の所有者に対し、店舗と住宅の共用部分の分離に必要な改修費の一部を補助するなど、空き店舗等の活用の促進を目指す。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
店主の高齢化や後継者不足、店舗の老朽化等により、町内の商店街等では空き店舗が増加傾向にある。このような状況を鑑み平成30年度に「内子町空き店舗等改修支援事業補助金交付要綱」を制定。所有と利用の分離の観点から、空き店舗等を増やさない仕組みづくりを行った。しかしながらこれまで当該制度の実績は2件に留まり利活用は進まない状況であった。そのため、当該制度を廃止し、利活用がより促進される制度「内子町はじめる・つなぐ商工活性化支援事業」を令和4年度に新設し、当該年度に5件、令和5年度に4件の支援(改修等)を行った。令和6年度は5件の申請があり、店舗改修等の支援を行った。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒計画どおり進捗している ☐計画どおり進捗していない		令和4年度より既存制度を見直し、事業者がより活用しやすい制度を新設。空き店舗等の改修も含めて利活用が図れている。今後も景観にも配慮しつつ、制度の利用促進に繋げていく。	
状況を示す写真や資料等			

【事例1】

- 事業内容:
空き店舗(旧宝来医院)を整備し、サイクリストに特化したゲストハウスを開業
- 補助金の使途:
宿泊施設を開業するために必要な備品の購入に係る経費
- 補助額 1,000千円



【事例1】

- 事業内容:
空き店舗を活用し、飲食店(やきとり屋)を開業
- 補助金の使途:
飲食店を開業するための備品購入及び店舗の改修に係る経費
- 補助額 1,000千円



【事例3】

- 事業内容:
町並み保存地区内にある空き家を賃貸し、フットケアサロンを開業
- 補助金の使途:
フットケアサロンを開業するために必要な設備及び備品の購入に係る経費
- 補助額 834千円



評価軸③-11

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和6年度
		現在の状況	
3-1. 職人の技術等、担い手育成事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	平成17年度～令和10年度		
支援事業名	町単独事業		
計画に記載している内容	伝統産業の知識及び技術修得を志願する者に対して奨励金を交付し、伝統産業の後継者を育成する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
○平成17年1月に制定した「内子町の匠づくり奨励金の交付に関する要綱」に基づき、内子町伝統産業の後継者の育成を補助するため、伝統産業の専門的な知識及び技術を修得しようとする者に対し、月額12万円を交付した(最大3年間)。令和2年4月1日からは、対象とする伝統産業に桐下駄製造を追加し、制度を拡充できた。これにより、技術継承が課題として挙げられていた3つの伝統産業において、後継者の育成を支援することができた。 令和6年度奨励金交付者数:1人(大洲和紙製造技術研修者・継続(R5年度より)1人)			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	大洲和紙製造技術研修者については、指導者のもとで着実に技術を修得しており、伝統技術の貴重な担い手として活躍している。研修者を引き続き支援していくとともに、今後は必要に応じて対象を拡充するなどの検討を行っていきたい。(現在は、大洲和紙製造技術研修者、茶の湯炭製造技術研修者、桐下駄製造技術研修者が対象)		
状況を示す写真や資料等			



大洲和紙製造技術研修者 紙漉きの様子①



大洲和紙製造技術研修者 紙漉きの様子②

評価軸③-12

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度		令和6年度
項目		現在の状況
3-2. 伝統行事等の継承の支援		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成25年度～令和10年度	
支援事業名	町単独事業	
計画に記載している内容	内子町伝統文化継承団体連絡会を中心に、保存継承団体相互の連携・情報共有を図る体制づくりを進める。また、各伝統行事等の映像記録を行い、保存継承のための資料として整備する。各地域に伝わる伝統芸能の周知啓発やその価値の再認識、次世代への伝承の機会とするとともに、活動の活性化を図ることを目的に「内子町伝統芸能まつり」を開催する。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
○姉妹町村であり、芸能継承の先進地でもある宜野座村との芸能交流を実施した。内子町からは「内子こども狂言くらぶ」が参加し、「がらまん子ども芸能祭」で演技を披露した。 ○愛媛大学地域協働センター南予と共催で「内子町無形民俗文化財保護団体交流研修会」を実施した。伝統文化の継承問題について内子町全体の問題を共有した。		
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		担い手不足により、内子町伝統文化継承団体連絡会の加盟団体が減少傾向にあり、伝統芸能まつり出演団体の固定化が課題。町外団体との交流を図りながら、活動継続のための意欲向上や情報収集につなげる。
状況を示す写真や資料等		
 子ども達の熱演が光る本番の様子  交流会の様子 宜野座村との伝統芸能交流(宜野座村訪問) □訪問日程 令和6年11月30日～12月2日 □目的 12月1日開催 宜野座村 「がらまん子ども芸能祭」への出演 □訪問団 23名(内子町伝統文化継承団体3名 内子こども狂言くらぶ関係者20名 うち、小学・中学生13名) □出演者 [内子町] ・内子こども狂言くらぶ [かみあそび] [宜野座村] ・玉城流継翔会 仲原瑠季琉舞道場 大城碧 [上り口説] ・松田区子ども育成会 [本部大主] ・宜野座区子ども育成会 [子どもチョンダラー] 「がらまん子ども芸術祭」は伝統芸能を受け継ぐ若者が舞台に立つ企画で、今回が記念すべき第1回であった。子ども達の賢明な演技に観客から万雷の拍手が送られた。夜には交流会も開かれ、出演者たちが感想を述べ合うなど充実した交流となった。 内子町無形民俗文化財保護団体交流研修会 愛媛大学地域協働センター南予との共催で、内子町の無形民俗文化財の保存・継承について考える交流研修会を実施した。会には獅子舞保存会などの芸能継承団体をはじめ、各地域の祭り実行委員会役員、文化財の保存継承に関心のある町民などが参加した。 □開催日 令和6年11月23日(土) □場所 内子町林業センター 大ホール □参加者 28名 □概要 講演「内子町の祭りと芸能」 講師 佐田岬ミュージアム館長 高嶋賢二氏 進行 愛媛大学特定准教授 大本敬久氏		
内子町無形文化財プロモーション動画作成 町内の無形文化財の現状を映像として記録。加えて、撮影した動画を利用して30秒程度のプロモーション動画を作成した。今後、SNSやホームページ等で公開し、周知活動の材料としていく。 □令和6年度作成分 ・中川万歳 ・寺村の秋祭り(寺村獅子舞) ・大瀬の秋祭り(大久保獅子舞、社切り) ・立川の秋祭り(日之地社切り、立川三島神社お供相撲、立山獅子舞)		
 ワークショップの様		

評価軸③-13

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和6年度
3-3. 習慣、風習等の継承及び再現事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手

事業期間	令和2年度～令和10年度
支援事業名	町単独事業
計画に記載している内容	現在、過疎化等で地域の伝統的な風習等が衰退しつつある。地域の伝統文化への理解を深め、コミュニティ文化を未来に引き継ぐため、実態調査や歴史の掘り起こしなどを行い、今残っているものの継承や活性化、なくなってしまったものの再現などを行う。
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で	

○伝統行事である「亥の子祭り」において、小学生による「亥の子つき」が実施されない地域が5割以上となった。継続に向け、小田分校に呼びかけ、「わらすぼづくり」「奉納亥の子つき」を地域の方と一緒に実施した。
 ○「小田燈籠祭り」は、復活2年目となり盛大に実施ができたが、もう一つの小田地域シンボルである「山の神火祭り」が今年度縮小規模ながら復活がなされた。小田分校生とともに、祭りを盛り上げる活動を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	継続的な事業となるよう他機関の連携等体制づくりが必要。
状況を示す写真や資料等	

小田地区「亥の子つき」行事の継承

- ☐会場 本川広瀬神社(恵比寿神社)
☐日時 令和6年11月6日 15時から
☐講師 地元、高本師津雄 氏
☐内容 高校に呼びかけ、3名の参加で、亥の子つきに使用する「わらすぼ」づくり、奉納亥の子つき、地元小学生との交流亥の子つきを実施した。



寺村山の神火まつりの復活

- ☐開催日 令和6年8月15日
☐会場 寺村商店街付近
☐内容 火まつりが実行委員会、地域連携で令和6年度復活することとなり、小田分校生10名と行事の「練り歩き」も復活することができた。



評価軸③-14

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度		令和6年度
項目		現在の状況
4-1. 中世城館跡等、遺跡・文化財調査事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	令和元年度～令和10年度	
支援事業名	単独事業	
計画に記載している内容	町内には曽根城跡や龍王城跡などの中世城館跡ほか遺跡等が多数存在すると伝わる。これら中世城館跡について現地調査を行い、縄張り図の作成や城館跡の現状の記録など、発掘調査の実施につなげることを目的に実施する。調査にあたっては専門家の指導を仰ぎ、地元有志を募って調査チームを結成し、住民の学びの場とする。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
○内子町に所蔵されている出土遺物について、有識者と共に現状を確認した。 ○埋蔵文化財包蔵地「龍王城跡」について試掘調査を実施した。また、遺跡調査に関する研修に職員を派遣した。		
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		町指定史跡活用方法を模索するため、比較データ収集を目的に町内の主要な山城調査を継続して実施する。また、他自治体を参考に試掘調査の実施に向けた準備を行う。
状況を示す写真や資料等		
専門家による町内出土遺物確認 ☐実施日 令和6年6月17日 ☐場所 内子町共同福祉施設 ☐内容 施設内に保管している故藤本勝氏によって収集された遺物について、愛媛県埋蔵文化財センター職員より調査の依頼があり対応をした。  資料の撮影を行っている様 埋蔵文化財包蔵地「龍王城跡」 試掘調査 ☐実施日 令和6年9月17日～20日 ☐調査員 内子町教育委員会 ☐調査指導協力 日和佐宣正氏 ☐内容 埋蔵文化財包蔵地「龍王城跡」について、遺構の残存状況を確認するため試掘調査を実施した。トレンチは平面に2か所、北西の郭端部に1か所設定した。結果としては、龍王城跡に関する遺物・遺構は確認されなかった。一部に締まりの悪い砂層が確認されたので後世の影響を受けているのではないかと推測できる。  第一トレンチ掘削の様子		
令和6年度文化財担当者専門研修「遺跡調査技術課程」への参加 ☐実施日 令和6年9月30日～10月4日 ☐場所 国立財団法人奈良文化財研究所 ☐内容 奈良文化財研究所が主催する文化財担当者研修に職員を1名派遣した。本研修は遺跡調査に関する基礎知識を学ぶ研修であり、地質学や遺構観察実習の講義が行われた。  遺構断面観察実習 愛媛大学教授による町内出土遺物の現状確認調査 ☐実施日 令和7年2月18日 ☐調査者 愛媛大学 村上恭通教授 ☐調査対象 太田城跡・松の木遺跡等出土遺物 		

評価軸③-15

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和6年度
4-2. 博物館歴史展示・講座等の実施			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	令和元年度～令和10年度		
支援事業名	町単独事業		
計画に記載している内容	町の歴史に関する常設展示を行い内子町の魅力を町内外に伝え、意識啓発等の機会を設ける。また特別企画展を年1回開催し、最新の調査・研究成果の報告を行うとともに関連講座等を実施し、理解を深める。テーマを持った資料館においては、年に1度ミュージアム講座を開催し、継続した学びの場及びその分野の専門家の交流の場とする。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
○木蠟資料館上芳我邸:木蠟・ハゼノキに関する体験を拡充し、町内における理解者・協力者づくりにつとめた。 ○内子町歴史民俗資料館(商いと暮らし博物館):第2回企画展と関連講演会、ギャラリートークを開催した。また別途特別講演会 の開催、翻刻資料集を刊行し、最新の研究成果を還元する機会を増やした。 ○五十崎風博物館:風や手漉き和紙に関わる体験を実施し、町内における理解者・協力者づくりにつとめた。町外への出張の風作り体験も実施した。 ○学芸スタッフが課を超えて連携し、町の水害の歴史について伝える特別展示を開催した。好評につき、町内各自治センターへの巡回展の形をとり、			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		報道への連絡やSNSの活用により企画展や講座の来場者が増加。観光客数も徐々に回復しており、より充実した企画展やミュージアム講座等を実施したい。今後は各館で連携をとりながら、効果的なPR方法を学習し、町の魅力を伝える機会を増やす。	
状況を示す写真や資料等			
【木蠟資料館上芳我邸】 第8回企画展「蠟を晒す」 ☐ 会期 令和7年2月1日～3月30日 ☐ 会場 製蠟用具展示棟2階 ☐ 開催中 木蠟・ハゼノキワークショップ 4～5月 ワックスペーパーづくり4人 6、11月 木蠟クレヨンづくり 2人 7～9月 木蠟でうちわづくり 5人 10月 櫛染め体験 3人 12月～1月 保湿クリームづくり 10人 2～3月 保湿クリームづくり 予定 出張・団体系 7月30日(県幼稚園研修南予) 29人 10月21日(子育て支援C) 10人 2月9日(内子自治C) 予定		 出張クレヨンづくり体験  小田深山ネイチャーキャンプ風作	
【内子町歴史民俗資料館(商いと暮らし博物館)】 内子町歴史民俗資料館第2回企画展 「内子尚武会と重岡信治郎」展 ☐ 会期 令和6年11月2日～令和7年1月12日 ☐ 会場 内子町歴史民俗資料館 蔵 ☐ 総来場者 4,656人 【関連講座】 「明治時代の学校教育について」 ☐ 開催日 令和6年11月17日 ☐ 講師 柚山俊夫さん(伊予史談会副会長) ☐ 参加者 17人 内子れきみん特別講演会 「六日市の成り立ちと伊勢舎一中近世伊予国をめぐる伊勢御師の活動について」 ☐ 日時 令和7年1月19日 ☐ 講師 千枝大志さん(同朋大学仏教文化研究所) ☐ 参加者 19人		【五十崎風博物館】 風・うちわ作り体験等 ☐ 令和7年度実績 風141人、うちわ70人 出張・団体系 7月31日(小田深山ネイチャーキャンプ風作り) 26人 8月22日(高齢者大学) 24人 合戦風色塗り体験 7月20日～26日 55人 8月10日～16日 70人 12月25日～27日 10人	
【特別企画展示】 「内子の災害の歴史ー水害編ー」 ☐ 会期 令和6年7月3日～令和7年10月9日 ☐ 会場 図書情報館、五十崎自治センター、内子自治センター、大瀬自治センター、内子東自治センター、小田自治センター(巡回)		 企画展の様子  特別講演会の様子	
		 展示広報物	

評価軸③-16

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和6年度
4-3. 町蔵資料のデジタルアーカイブ化		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手

事業期間 令和元年度～令和10年度

支援事業名 町単独事業

計画に記載している内容 内子町収蔵資料のうち、整理、目録作成の終了したものから写真撮影を実施し、デジタルアーカイブ化を進める。所蔵資料の内容や所在の公開を目指し、それにより誰も見られ、活用できる仕組みを整える。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

○デジタルアーカイブ化

収蔵資料に大まかな優先順位をつけ、順次スキャン、写真撮影を進めた。

○収蔵資料目録、収蔵環境の見直し

常に地域住民に協力を呼びかけ資料を収集した。資料目録、収蔵環境の見直しを進め、関係職員による先進地視察研修を実施。民俗資料の活用方法や収蔵方法について学んだ。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

■計画どおり進捗している

□計画どおり進捗していない

デジタル化の作業が順調であるため、来年度以降はアーカイブ化に向けて個々の資料の公開の可否、目録の見直しを並行して進めていく必要がある。資料収集も順調であるが、収蔵スペースの確保が大きな課題。解決に向けた協議を進める。

状況を示す写真や資料等

資料のデジタル化

目録整理係、デジタル化係、解読係と関係者間で役割分担し、随時、木蠟資料館収蔵庫等の収蔵品についてスキャンを行っている。

《令和6年度完了分》

- ・小田森林鉄道関係資料 (泉賢盈氏関係資料)
- ・武内家関係資料

資料の取得及び整理(目録制作)の継続

未整理の資料や寄託資料について、整理・目録作成を継続した。併せて歴史資料の寄贈に関する相談に応じた。令和5年度は内子市街地の複数の旧家より雛人形等民俗資料や江戸～昭和にかけての文書の寄贈を受け、目録の作成や写真撮影をした。

- ・小田森林鉄道関係資料 (手記や表彰状、絵葉書など)
- ・元小田郷土資料館収蔵古文書(田畑反別野取帳など220点)



整理した資料は
中性紙袋に収納



新しい資料の概要を確認



デジタルアーカイブ化に向けた情報収集(3Dモデル作成研修)

□実施日: 令和6年11月21日、22日

□場所: 21日_南予サイン会議室、22日町並保存センター

□講師: 岩村孝平氏(元備前市地域おこし協力隊)

内子町地域おこし協力隊浪江 和希氏の企画「初めてのスマートフォンで3Dスキャンin南予サイン」へ文化財担当職員が参加した。未参加の職員にも情報を共有し、今後のアーカイブ整備に活用できるように協議していく。



座学の様子



実際に身の周りの物を
スキャンしている様子

評価軸③-17

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度		令和6年度
項目		現在の状況
4-4. 博物館ボランティア(学芸サポーター)育成事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成24年度～令和10年度	
支援事業名	町単独事業	
計画に記載している内容	平成24年度より活動している町内博物館ボランティアグループ・学芸サポーターの活動を拡充させる。現在行っている資料整理作業(古文書解読・整理)だけでなく、ワークショップや伝統産業である和紙・木蠟の生産など様々な興味・関心に合わせた活動を行い、博物館の「学びの場」としての機能を充実させ、より多くの住民の博物館活動への参加を促す。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
○上芳我邸で学芸サポーターが月1回の古文書整理活動を実施。他の講座等にも出席し、知識を蓄積している。 ○学芸サポーター講座公開ワークショップ「襖の下張り文書はがし」を実施するなど活動を拡大 ○令和6年度より学芸サポーター内子れきみん班が活動を本格化させた。くすり瓶の調査整理、製糸業関係民具調査、「永代録」講読の3つの活動を実施し、学びを深めている。		
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		外部講師による養成講座を開催し、中学1年生から70代までの幅広い参加者を得た。活動を安定して継続させるため、来年度以降も講座の開催や専門家への協力依頼を積極的に行う。
状況を示す写真や資料等		
古文書整理活動(上芳我邸) ☐開催日 月に1回開催 ☐参加者 延べ83人 ☐内容 「上芳我家文書」の整理作業に加え、森家文書の解読作業を実施。毎月活動報告を発行。  公開ワークショップのようす 水損資料レスキューワークショップ ☐内容 「水損資料レスキュー」 ☐開催日 令和6年8月17日 ☐会場 内子自治センター1階 多目的ホール ☐参加者 10人 ☐ミニ展示 「内子は災害に強いのか? —内子の災害の歴史 水害編—」の一環として開催。学芸サポーターが多数参加。 内子町学芸サポーター(内子れきみん班)活動 活動回数: 11回(例会: 9回 / 講演会: 2回 / 研修1回) 【例会】 ・くすり瓶調査 活動回数: 3回 参加者: 延べ 14人 ・製糸業民具調査 活動回数: 1回 参加者: 延べ 6人 ・「永代録」講読会 活動回数: 4回 参加者: 延べ 33人 【視察研修】 日時: 令和6年7月28日 視察先: 西予市野村シルク博物館、災害伝承展示室 参加者: 9人 目的: 製糸業に関わる民具調査を進めていく上で理解を深めるため 【講演会】 歴史民俗資料館で開催した2回の講演会を例会とした ・第2回企画展関連講座(令和6年11月17日) 参加者: 17人 ・内子れきみん特別講演会(令和7年1月19日) 参加者: 19人  くすり瓶調査の様子  研修の様子		

評価軸③-18

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和6年度
項目		現在の状況	
4-5. 歴史的資源の周知・活用		☐実施済 ☒実施中 ☐未着手	
事業期間	令和2年度～令和10年度		
支援事業名	町単独事業		
計画に記載している内容	観光客等を対象としたまち歩きガイドの充実や外国人観光客等に向けた案内や多言語化などの拡充を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
昨年度に引き続き内子町の町並みを案内するガイド業務を行った。令和5年5月から新型コロナウイルスが感染症5類となり観光客数の急激な回復とともに、内子町町並みガイドの会(日本人)での活動が活発に行われた。ガイドの会は月に一度会合を開き、意見交換や研修を行っている。多言語化に関しては、英語版のHPへの誘導や英語表記の看板を設置し対応しているほか、令和6年度は外国語ガイドの会において13組(112名)に対して外国語対応が行われた。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒計画どおり進捗している ☐計画どおり進捗していない		日本人のガイド事業に関して、高齢化のため事業継承をどのようにしていくかが課題。観光協会と情報を共有し、引き続き啓発を行っていく。	

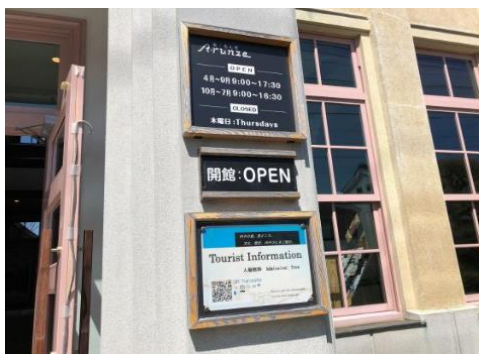
状況を示す写真や資料等



町並ガイドの会によるガイドの様子

ガイド実績(町並みガイドの会)

R01年度	210組	3,056人
R02年度	95組	1,573人
R03年度	59組	643人
R04年度	125組	1,565人
R05年度	176組	2,157人
R06年度	153組	2,153人(4月～12月)



英語表記の案内看板



Highlights

新設した英語サイト
<https://uchikogenic.com/en/>

外国語ガイド実績(外国語ガイドの会)

R06年度	13組	112人(4月～12月)
-------	-----	--------------

評価軸③-19

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度		令和6年度
項目		現在の状況
5-1. UDC(アーバンデザインセンター)などまちづくり拠点・組織等の整備		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	令和2年度～令和10年度	
支援事業名	町単独事業	
計画に記載している内容	歴史まちづくり推進の拠点を設け、景観計画や都市計画の観点からもまちを捉えて歴史まちづくり計画を実践していく。そのためにも、住民が訪れやすい空間を歴史的建造物の活用と合わせて整備する。また大学や専門家との連携も図り、まちづくりや歴史資源の情報などの集積機能を併せ持つ組織の確立を進める。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
○第2回サウンディング型市場調査を実施し、旧森家住宅を実際に使いたい事業者等に意見を伺う。旧森家で実施したい事業の内容や、運営にあたって必要な物や費用などを把握し、整備工事や施設設置条例などについて検討した。 ○旧森家住宅を活用した地域振興に関する戦略策定や助言等をしてもらう「内子町副業型地域活性化起業人」を募集した。2名の応募があり、そのうちデロイト・トーマツ・フィナンシャルアドバイザー合同会社に勤務する原氏を採用。		
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		旧森家住宅の整備活用と併せて、歴史まちづくりの拠点整備や体制等の協議を行い、計画的な人員増強についても提案等していく。
状況を示す写真や資料等		
■サウンディング型市場調査の実施 ☐概要 指定管理者の公募条件などを検討するため、第2回サウンディング型市場調査を実施した。指定管理者希望に2事業者、テナント希望に2事業者の計4事業者が参加した。 ☐内容 ①公募期間 令和6年9月30日～10月11日 ②サウンディング実施日 令和6年10月26日～10月23日 (参加・4事業者) ③実施結果の公表 令和6年12月5日～ ■副業型地域活性化起業人の公募 ☐概要 旧森家住宅を活用した地域振興に関する戦略策定・助言等の業務を行う「内子町副業型地域活性化起業人」を募集した。商店街を元気にする新しい仕組みや組織の立ち上げ等に寄与する。 ☐内容 ①公募期間 令和6年12月17日～令和7年1月8日 ②面接実施日 令和7年1月20日 ③契約期間 令和7年2月3日～令和8年3月31日		

評価軸④-1

文化財の保存又は活用に関する事項

令和6年度		評価対象年度
項目		現在の状況
○文化財調査、指定について ○埋蔵文化財の取扱いについて		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
計画に記載している内容	・地域の多様な文化財の掘り起こしや調査を進め、価値が認められたものについて指定・登録を検討する。 ・町指定天然記念物等にかかる文化財パトロールの体制を整備し、現状把握と適切な保護を行う。 ・周知の埋蔵文化財包蔵地における開発行為への対応、出土遺物の適切な保管・管理を行う。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
○内子管内担当の文化財パトロール員とともに天然記念物の現状を視察した。所有者が所在の記念物については、管理の現状や困っていることをヒアリングした。 ○「旧佐野家住宅(商いと暮らし博物館)主屋」をはじめとした3件の登録有形文化財登録のために意見具申、「愛宕山奉納相撲場跡」の内子町有形民俗文化財への指定を行った。 ○埋蔵文化財の取扱いについて 開発工事にかかる照会対応(公共:7件・49カ所、民間:28件・43カ所)した。		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	引き続き、町指定文化財及び国登録候補物件の調査を進め、指定・登録を検討する。 埋蔵文化財については、包蔵地登録範囲の明確化が課題であることから、順次、包蔵地の確認・調査を進め、開発工事にかかる調査にも対応できるよう体制を整える。	
状況を示す写真や資料等		

内子管内天然記念物現状確認

□実施日: 令和6年6月18日

□実施結果: 管内の天然記念物18件の内、5件が所有者・管理者不在、4件がお宮管理、8件が個人所有・管理という状況であった。また、個人所有者にヒアリングを行った結果、旧町時代にあった管理支援が途絶えたことで文化財管理に対する意欲がそがれたなどの声があったことを文化財保護審議会にて報告した。



石畳地区「高藤のゴヨウマツ」視察

中川「愛宕山奉納相撲場跡」 文化財指定協議

□実施日: 令和7年2月14日

□概要: 中川地区に残る「愛宕山奉納相撲場跡」の内子町有形民俗文化財への指定について文化財保護審議会で諮り、指定することがふさわしいとの見解に至った。



「旧佐野家住宅(商いと暮らし博物館)主屋」など計3件が登録有形文化財に

□登録: 令和6年12月3日

□登録物件: 「旧佐野家住宅(商いと暮らし博物館)主屋 土蔵 離れ」



「旧佐野家住宅(商いと暮らし博物館)主屋



「旧佐野家住宅(商いと暮らし博物館)土蔵」



「旧佐野家住宅(商いと暮らし博物館)離れ」

評価軸④-2

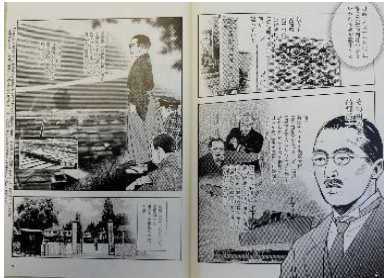
文化財の保存又は活用に関する事項

評価対象年度		令和6年度
項目	現在の状況	
☐ 文化財の修理(整備)について ☐ 文化財の保存・活用を行うための施設について ☐ 文化財の周辺環境の保全について ☐ 文化財の防災について	☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
計画に記載している内容 ・重要文化財や重伝建地区での保存修理事業の実績を活かし、新たな調査研究成果に基づいて修理を行う。 ・伝統文化施設における企画展・イベント等の開催、多言語化などの推進に取り組む。 ・都市計画区域マスタープラン、内子町景観まちづくり計画など連動し、景観に関する住民意識の向上を図りながら文化財とその周辺の一体的な保全や調和を図る。 ・重要文化財等にかかる防火設備の設置、文化財所有者への啓発、文化財防火デーにおける消防訓練等の実施に、地域住民や消防本部等と協働で取り組む。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
☐ 文化財の修理(整備)について、町指定名勝「弓削神社の境内」屋根付き橋の屋根の葺き替え工事を行った。 ※伝建地区及び内子座についてはP4、5参照。 ☐ 文化財の保存・活用を行うための施設について※講座や多言語化等はP20参照。 ☐ 文化財の周辺環境の保全について、町指定史跡「龍王城跡」整備事業を実施。 ※P2「2.良好な景観の形成に関する施策との連携」を参照。 ☐ 文化財の防災については、文化財防火デーに合わせて各施設にて防災訓練を実施した。 ※内子町八日市護国伝統的建造物群保存地区についてはP7参照		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	・修理・整備に関しては歴史的価値を損なわないよう、また所有者等の意向を尊重するとともに意識啓発も図りながら進めていく。 ・ほか3項目についても継続的に実施していく。	
状況を示す写真や資料等		
町指定名勝「弓削神社」屋根付き橋改修工事 屋根付き橋の屋根が傷んでいたため、杉皮の屋根の葺き替え作業を行った。 ☐ 実施期間：令和6年12月9日～12月11日	町指定史跡「龍王城跡」整備事業 史跡「龍王城跡」周辺の樹木を、楓等の季節の木々を残して皆伐し整備を実施した。木々が整理されることで、これまで見えがられていた郭の輪郭を視認することが可能になった。 また、視認性に影響が少ない低木についても、近年、蜂の巣が形成されるケースが多いとの専門家のアドバイスから除去することとした。 ☐ 実施期間：令和7年1月30日～2月25日	
 氏子である地域住民総出で協力している様子	 景観整備の様子	
文化財等の防災訓練 1月26日が文化財防火デーであり、町内各施設で訓練を実施し、内子消防署署員から主に以下の訓練指導を受けた。 ・火事を想定した通報訓練。 ・来館者の避難誘導や消火器の取り扱い訓練。 ・地震発生時の対応について確認し、助言を得た。 【内子座】 ☐ 実施日／参加者：令和7年1月20日／7人 【木燭資料館上芳我邸】 ☐ 実施日／参加者：令和7年1月17日／6人	 内子座での消火訓練	

評価軸④-3

文化財の保存又は活用に関する事項

評価対象年度		令和6年度
項目		現在の状況
○文化財の保存及び活用の普及・啓発について ○文化財行政等の体制について ○文化財の保存・活用に関わる団体等との連携および支援について		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
計画に記載している内容	・展示施設における企画展・イベント等の開催、学芸サポーターの育成、郷土学習の充実などに取り組む。 ・文化財担当部局のほか、まちづくり・観光・都市計画部門等を含めた体制の見直しと連携を図り、文化財の保存と活用を推進する。 ・文化財や伝統行事の保存継承に取り組む団体等に対し、必要な情報や発表の場の提供、担い手育成の支援などを行う。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
○文化財の保存及び活用の普及・啓発について ・地域史の充実化を図るため、令和2年度に開講したふるさと学のスメ(講座3回)を継続して実施。 ・内子中学校3年生の郷土学習の一環として、今年度も蠟燭り体験学習を実施した。 ・子ども向けの体験講座や小学校の授業との連携事業を実施し、活用につとめた。 ○文化財行政等の体制については、組織的な変更はない。関連する職員間で研修及び情報共有の機会を設けている。 ○文化財の保存・活用に関わる団体等の連携および支援は、企画段階で連携を図り支援につながる事業展開を試みた。		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	・普及・啓発は、現体制では人員不足が挙げられる。限られた人員で連携して進めていくが、全体的な体制整備と併せて、計画的な人員増強について提案等していく。 ・子どもたち対象の学習会や体験などの機会は貴重であり、今後も推進していきたい。 ・関係団体との連携は今後も継続していく。	
状況を示す写真や資料等		
ふるさと学のスメ(講座) ■第1回 令和6年9月28日 11人受講 講師：愛媛県まなび推進課 研究科 教育主任 須之内 智彦氏 演題：ふるさと愛媛学出張講座 「昭和の内子町の産業」 内子・大瀬・五十崎編 ■第2回 令和6年10月27日 15人受講 ☐講師：愛媛大学法文学部 (四国遍路・世界の巡礼研究センター長) 胡 光 氏 ☐演題：「内子を通る遍路道の歴史的価値について」 ■第3回 令和6年11月16日 7人受講 講師：愛媛県まなび推進課 研究科 教育主任 須之内 智彦氏 演題：ふるさと愛媛学出張講座 「昭和の内子町の産業」 小田編 小学3年生向け体験学習「昔の暮らし」 ☐実施日：①令和7年1月30日(内子小) ②令和7年2月19日(内子小) ③令和7年3月13日(天神小) ☐参加：内子小学校 44人、天神小学校 28人 ☐内容 ①町家資料館で江戸時代の生活様式について学習。 火鉢を使ってかきもちを焼き、昔の食生活と暖房器具の体験を行った。 ②③歴史民俗資料館の建物や民具を使って学習。 ランプや 灯明、和蠟燭であかりの移り変わりを体験。 内子れきみんであそぼ ■Vol.5 水に関わる昔の暮らし ☐実施日：令和6年8月3日 ☐協力：内子町図書情報館 ☐参加：町内小学生2人 ☐内容：水にちなんだ民具を使った体験学習とブックトーク。  講座の様子  令和6年度案内チラシ 内子中学校蠟燭り体験学習 ☐実施日：令和6年6月13日、14日 ☐協力：八日市護国地区町並保存会 有志7人 ☐参加：内子中学校3年生62人 ☐内容：地域産業の歴史を学ぶため、昔ながらの方法で木蠟を搾る体験等の学習を行った。  体験の様  かきもちを焼く様  ブックトークの様子		

進捗評価シート		(様式1-5)
評価軸⑤-1 効果・影響等に関する報道		
	評価対象年度	令和6年度
報道等タイトル	年月日	掲載紙等
出世風 子の成長託し(いかざき大風合戦名前書き)	令和6年4月23日	愛媛新聞
ドイツビールで乾杯(ドイツフェスタ)	令和6年5月15日	愛媛新聞
古今狂言で笑い追及(古今狂言会)	令和6年5月23日	愛媛新聞
かつて小田に芝居小屋が(気軽にコミュニティカレッジin内子)	令和6年6月25日	愛媛新聞
旧佐野家住宅登録有形文化財答申	令和6年7月20日	愛媛新聞
燈籠まつり存続の力に	令和6年7月25日	愛媛新聞
休館内子座 感謝の清掃	令和6年9月10日	愛媛新聞
小田・中川地区の住民グループ「よろず屋なかがわ」/EBC LiveNews	令和6年9月16日	テレビ愛媛
観光停滞回避 新資源発掘へ	令和6年9月28日	愛媛新聞
内子座楽屋を一般公開	令和6年10月5日	愛媛新聞
弓削神社太鼓橋(アニメ・サザエさんのオープニング/12月29日まで)	令和6年10月6日	テレビ愛媛
内子出身の洋画家 中川八郎の作品一堂に	令和6年12月2日	愛媛新聞
内子座の歴史振り返る(本格修理前の見学会)	令和6年12月10日	愛媛新聞
小田深山スキー場など内子の様子/ひめポン	令和6年12月11日	NHK
スキー場、じゃばら足湯/なるちか	令和6年12月12日	愛媛朝日テレビ
小田深山の紅葉/ニュース	令和6年12月13日	テレビ愛媛
高畑誠一の歩み漫画に(少年式の日を祝う会で贈呈式)	令和7年2月9日	愛媛新聞
内子の魅力や可能性考える(合併20年記念シンポ)	令和7年2月9日	愛媛新聞
「伝説の商社マン」高畑誠一氏活躍 漫画に	令和7年2月18日	読売新聞
ご近所歴史ミステリー! えひめ謎解き歩き/スーパーJチャンネルえひめ	令和7年2月25日	愛媛朝日テレビ
内子町出身の偉人「高畑誠一」/坂の上のラジオ	令和7年3月8日	南海放送ラジオ
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で 計画に基づく事業に係る報道6件、歴史まちづくりを推進・実践することで形成される町並み保存地区などの良好な景観や歴史的資源を紹介・案内する報道9件、その他、伝統産業・行事、文化財等を活用しての取り組み等に関する報道6件を掲載した。活動自粛が緩和され、少しずつ人の動きが増えてきたので、上記以外にも報道があった。伝統産業や行事、文化財等を活用した取り組みは規模は異なるが多様な形態で増えている。それらが報道されることで人の交流やネットワークの広がりがこれまで以上に見られるようになった。 進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述) □計画の進捗に影響あり ■計画の進捗に影響なし 報道の効果は大きく、内外ともにまちの魅力や価値を広められる。報道機関への取材依頼等の周知を積極的に行うことで、より効果的は情報発信の機会としたい。 状況を示す写真や資料等 歴史まちづくりを積み重ね、それら資源を活用した取り組みにより報道される機会の多い事例  高畑誠一物語  小田深山  内子座		

評価対象年度		令和6年度
項目		
歴史的資源の掘り起こし、普及活動		
計画に記載している内容	歴史資源を活かしたまちづくりを進めるフィールドの拡充、職人やまちづくりの担い手育成、交流人口の増等を目指す。 専門職の配置や大学などとの連携等、体制の充実を図りつつ、基礎となる歴史的資源などの調査を進める。 住民や地元企業、大学や専門家などと連携し、まちづくりに関する資料や職人技術・歴史資料など集積機能を併せ持つ組織の確立や、それらによる人材育成、地域住民の意思醸成を推進する。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付		
○内子町内にはかつて、内子座以外にも多くの劇場が存在した。その実態は不明であるところが多く、令和5年度より継続調査を行っている。小田地区に関して引き続き、愛媛大学社会共創学部の井口梓教授のゼミに協力を仰ぎ調査を行ったほか、その他町内でも調査を実施した。 ○五十崎地区出身の画家・中川八郎について、愛媛県美術館の協力により「おでかけ美術館」として地元五十崎にて作品を展示し、周知につとめた。 ○郷土の偉人・高畑誠一のあゆみを伝える漫画を制作し、少年の日の記念品として町内中学校2年生に配付した。完成を記念して贈呈式を開催し、周知につとめた。		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☐ 計画の進捗に影響あり ☒ 計画の進捗に影響なし	内子座の改修中、改修後に向けて計画的に関係資料の保存・調査やヒアリング調査や普及活動を行う必要があるが、人員不足が大きな課題である。 引き続き大学や関係職員間で連携をとり、進めていきたい。	
状況を示す写真や資料等		
「内子町 芝居小屋の記憶」調査 《小田地区調査》 □調査期間：8月19日(月)～22日(木) □調査者：愛媛大学社会共創学部 井口梓教授 及びゼミ生8名 □内容：昨年度に引き続き、小田地区にかつて存在した芝居小屋6軒について10名の対象者にヒアリングを行い、現地調査を行った。最終日には内容をまとめた模造紙を小田自治センターロビーに展示し、関係者、地域住民への成果報告を行った。町内全域で調査を行った成果は書籍「内子町芝居小屋の記憶」として残す。		
		
		小田地区調査の様
「中川八郎絵画展」 □実施日 令和6年11月22日(金)～12月15日(日) □会場 五十崎風博物館 □来場者 534人 □内容 明治10年天神村生まれの洋画家中川八郎の展覧会。内子町共生館開館30周年記念事業として、愛媛県美術館所蔵の作品を紹介する「おでかけ美術館」を開催し油彩12点を展示。町内の民間ギャラリーでも23作品が展示された。		
		
		絵画展の様子
郷土の偉人顕彰事業 漫画「皇帝と恐れられた商社マン 高畑誠一物語 ～内子から世界へ～」制作 郷土出身の偉人・高畑誠一の生涯とその功績を伝える漫画を制作し、令和6年度より「少年の日」の記念品として町内の中学2年生に配布。 町のこれからを担う若い世代にその生涯を知ってもらい、将来を考えるヒントとしてもらうことを目的とする。今後、毎年中学2年生に配布する。		
【贈呈式】 □日時：令和7年2月4日 □場所：内子中学校 □内容：「少年の日を祝う会」に併せて、漫画の贈呈式を行った。町長による講話、贈呈と、漫画の制作にあたって原作執筆などを担当した双日株式会社小林正幸部長にも講話をいただいた。		
		
		贈呈式の様子
		漫画の表紙